

南山中学校区 地域ぐるみ中心メンバー会議 第1回報告

～ふだんの高齢者の見守りについて～

平成26年度に入り初めての地域ぐるみネットワーク中心メンバー会議を平成26年6月13日（金）午後2時～午後4時まで白井駅前センターで行いました。当日は、地域の参加者、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、企業、市職員、計22名が参加しました。

今回も昨年に引き続きのメンバーと新しい自治会の役員さんなど、初参加の方が何人かいらしてくださいました。地域のことに関心があれば、誰でも参加がOKなので、これからもいろいろな人を誘ってきてください。

今回は、今年度の方向性をお話し、この会議の目的、具体的なテーマについて説明をしました。昨年度は皆さんといろいろな話しができたのですが、具体的な取り組みを行うところまではいきませんでした。今年度は具体的なテーマを絞り、何か皆さんで具体的な取り組みができればよいと考えています。今年度も月に1回（第2金曜日午後）実施予定ですのでよろしくお願いします。

1. 平成25年度中心メンバー会議の取り組みの振り返り

(1) 平成25年度の話し合いのテーマについて

昨年は主に以下にあげるテーマについて話を深めてきました。

- ① サロンの重要性について
- ② 階段会議や集会所お茶代女性など身近な交流機会を増やす
- ③ 高齢者の活躍の場を増やす
- ④ 民間事業者による見守りネットワーク



昨年は主に4つの視点で話しが行われました。特に皆さんで再確認できたのはサロン（集いの場）の重要性でした。実際にサロンの運営をされている方の参加も多く、なぜ身近な場所でサロンが必要なのか、それぞれの地区でのサロンの内容の工夫など、いろいろなサロン同士の交流ができたのではないのでしょうか。また、サロンを行っていない地区などで、新たにサロンが作られるなど、話し合いをすることで刺激になり、新たなサロンを実施することができました。また、この会議の中で実現化した内容としては、民間事業者による見守りネットワークです。皆さんからのアイデアをいただき、見守りネットワークの実現化をすることができました。民間事業者96社との協定を結ぶことができ、7月17日に協定式が開催されました。

(2) 昨年の参加者からのアンケート結果（南山中学校区、清水口小学校区）

開催の頻度については、月1回がちょうどよいと約88%の方が思われていました。また、会議の参加の仕方や内容などについては、約半分の方が今まで通り自由参加でよいという回答があり、テーマが決まったらメンバーを固定したほうがよいとの意見もありました。皆さんのからのいろいろな意見により、話し合いを行うことで、地域の現状や白井市の現状などを再確認するきっかけをつくることができました。皆さんのアンケート結果より、昨年と同様月1回の会議を実施していくこととしました。アンケートのご協力ありがとうございました。今年度もよろしくお願いします。

2. 今年度の取り組み

この会議の趣旨として、昨年から話しをしている地域包括ケアシステムの視点、地域福祉計画の視点を再確認の場として目的や会議参加のスタイルや会議の具体的なテーマについて皆さんの同意を得ました。また、全国の具体的な取り組みについて紹介し今後のイメージを膨らませる機会となりました。

【会議の目的】

- ① 地域ひとりひとりの高齢者が今、困っていること、希望していることはなにかを知る。
- ② 困っていることを解決改善していくために、どんな取り組みが地域にあると良いかを話あう
- ③ 話し合いだけに終わらずにその取り組みがひとつでも実現できるようにする。



【参加のスタイル】

- ① 基本は昨年と同様、自由参加にしますが、ひとつひとつのテーマを話し合うメンバーは8月の会議をした上で固定化したいと思います。
- ② いろいろな方に参加してもらえるように、地区連携会議の参加者や住民、民家事業者に話し合いたいテーマを明示して、参加者を募っていきたいと思っています。

【会議のテーマ】

昨年のように全員で色々なテーマを話し合うのではなく、テーマ別、取り組み別のグループを作りたいと思います。

大テーマ「**普段の高齢者の見守り・支え合い**」

テーマ①**認知症の症状がある人が地域で暮らしていくために、周りの人が支援できること**

地域での事例を提起し、地位の人が気軽に支援できることを話しあってみたい。各地域で認知症の人への理解を深めるための取り組みや具体的な支援方法を実践してみたい。

②**民間事業者と連携した高齢者生活支援のアイデア**

地域での高齢者の生活課題を提起し、民間事業者として可能な取り組み実践や支援を検討してみる。

3. 今日の話し合い

① 会議の名称について

以前から会議の名称について、特定の人に限っているイメージがあり、違和感があるとの意見が多かったため、今年度より名称を変更することにしました。いろいろな意見が出されましたが、

「ふれあい会議」の名称の案の意見が多くありました。

最終決定は8月の会議にしたいと思っています。

② 白井市高齢者見守りネットワークについて

「南山中学校区地域ぐるみネットワーク」の名称を協力団体に入りたいと事務局の思いを伝え、参加者に同意を得て協力団体に入れることに決定をしました。

4. 次回からの進め方について

今年度の南山中学校区の中心メンバー会議は、話題となるテーマを2つに絞る予定です。全体で、色々なテーマを話し合っていると、「具体的な実践」につなげるところまで、内容が深まりにくい
ため、次回から、テーマ別にグループ分けし、各グループに市や社会福祉協議会の担当者、在宅介護支援センター担当者が入る形を取りたいと考えております。

8月の会議については、それぞれのテーマにおいて、事前に高齢者見守りネットワーク連携会議、認知症家族会やケアマネージャー等へ周知をしていき、会議に参加してもらえるようにしていき、具体的な事例を報告していただけるようにしていく予定です。

(1) 南山中学校区における「ふだんの高齢者の見守り・支え合い」を大テーマに以下の2つのテーマにしぼり具体的な取り組みアイデアを考えていく予定です。



A 認知症の症状がある人が地域でくらししていくために周りの人が支援できること

B 民間事業者と連携した高齢者生活支援のアイデア

(2) 進め方

- ① テーマ別に参加者にグループになっていただき、市や社会福祉協議会の担当が入って、話し合いを進めたいと思います。なお、参加するグループは、各参加者が興味のあるテーマとします。
- ② 一定時間グループで話し合いを深めたら、最後に、全体で共有し、意見交換を行います。

5. 中心メンバー会議 今後の日程

今回は、**8月8日(金)午後2時~**です。初めての方でも・全部の会議は出られないかも・・・の方でも大歓迎です。是非ご参加ください。

【 今後の開催予定 】 毎月第2金曜日 午後2時 ~ 午後4時ごろ

平成26年8月8日・9月12日・10月10日・11月14日・12月12日
平成27年1月9日・2月13日

※ 場所は、毎回 白井駅前センター です。

「高齢者の見守り」ネットワーク担当

白井市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 鈴木・今井
電話 047-497-3474 FAX047-498-4832
メールアドレス chiiki-hokatsu@city.shiroi.chiba.jp

地域福祉計画(地域ぐるみネットワーク)担当

白井市 健康福祉部 社会福祉課 厚生班 電話 047-497-3482

